



本の芽

No.1

多摩市立東愛宕中学校 学校図書館だより

学校図書館司書 福地梢 2024.4.19

はじめまして！

東愛宕中学校のみなさん、ご入学・ご進級おめでとうございます。
この春から東愛宕中学校の司書としてまいりました、福地 梢（ふくち こずえ）と申します。
どうぞよろしくお願い致します。

東愛宕中学校に来て、2週間になろうとしていますが、すでにこの東愛宕中学校の生徒のみなさんが大好きになりました。まだ本の貸出はできないのですが、毎日お昼休みには、本を読み、学年問わず生徒さんが図書室にきてくれています。4階の眺めの素晴らしい図書室の窓から外を眺めるみなさんの姿を見るのも、大好きになりました。

これからみなさんと一緒に、東愛宕中学校の図書室を作っていくことを、心から楽しみにしています。



図書室 貸出はじまります！

4月22日(月)お昼休みより

貸出冊数 3冊まで

貸出期間 2週間

お待たせしました！図書室でみなさんが来るのを待っています～

読書の効用って？！

読書の効用はたくさんあると思いますが、タレント作家でもある加藤シゲアキさんは、このように語っています。

加藤シゲアキさんは、さらにこうも話しています。「若いうちは、自分が感じたことや考えたことを整理できなかつたり、うまく言語化できなかつたりすることもあるでしょう。そこに『言葉』を与えてくれるのが、書物です。」

物語の登場人物に共感することで、ヒントをもらったり、気持ちが楽になったり…。みなさんも、そのような本にぜひ出会ってほしいと思います。

『NHK100分de名著』 2022年8月号より抜粋

「人によさしくなれる」ということも、読書の1つとリわけ物語を読むことの1つ効用の一つでしよう。物語に登場する人物は、基本的にみな他人です。自分ではない人の話を読み進めるといふことは、「他者に寄り添う」ということ。やさしくなれるのは、主人公に寄り添ってその胸の内を思い、さらに主人公を通して、他の登場人物にも心を寄せていくことになるからです。他者を完全に理解することはできませんが、物語を通して「こんなときに、こんなふうを感じる人もいるんだ」と気づき、根気よく理解しようとするやさしさは、日々のリアルな生活にも生かされるはず。そうやって人生経験を積んでいくと、本の世界も、より深く旅することができるようになる。読書と実人生は相互に作用しながら、生きることを豊かにしてくれているように思います。

作家・タレントの加藤シゲアキさん『読書の効用』について語る。



4月は本の季節

こども読書週間
4/23(日)～5/12(日)

「ひらいてワクワク めくってドキドキ」
今年のこども読書週間の標語です！このワクワクドキドキを、みんなにも味わってほしいと思います。
みなさんは、辻村深月さんの『かがみの孤城』を読んだことがありますか？主人公のこころは、悩みを抱えた中学1年生。突然部屋に現れた大きな鏡。その鏡の中に足を一歩入れると、そこは、別世界。

・・・私は本を読む瞬間、この大きな鏡を思い出します。新しい世界に飛び込む感覚は、まさにワクワクドキドキです。この期間、一緒に読書を楽しみましょう♪



4月は本の季節。本に関するイベントがたくさんあります♪
新生活がスタートしたみんな！ぜひ、本を探しに、図書室をのぞいてみませんか？

2024年本屋大賞 4/10(水)決定！
～全国書店員が選んだいちばん！売りたい本～

本屋大賞とは、全国の書店員が選んだ『一番売りたい本』を投票で決めるものです。
毎年どの本が選ばれるか、楽しみにしている人も多いでしょう♪ 今年の大賞も決定しました！



大賞 『成瀬は天下を取りにくい』
宮島未奈 著 新潮社

『サン・ジョルディの日』4/23(水)

～大切な人に、花と共に本を贈る日～

4月23日スペイン発祥の記念日『サン・ジョルディの日』の由来となった

サン・ジョルディと竜の伝説



『昔々、スペインのカタルーニャ地方のある国に、大地を駆け、空を飛び、海を泳ぎ、一息で森や作物を焼き尽くすことのできる恐ろしいドラゴンがいました。そのドラゴンの怒りを鎮めるために、人間が生贄（いけにえ）とされていました。』

そして、ついにその国のお姫様が生贄になる番となり、ドラゴンの餌食（えじき）になろうかとした瞬間、白い馬にまたがり現れた騎士がいました。

その騎士の名は、サン・ジョルディ。激しい戦いの後、ドラゴンは命尽きてしまいますが、そのドラゴンの胸からあふれ出た血が、美しいバラの花に変えました。

サン・ジョルディは、そのバラの花をお姫様に永遠の愛のシンボルとして贈りました。』

この伝説から、大切な人にバラを贈る風習ができたそうです。

また、この日は小説『ドン・キホーテ』の著者のセルバンテスと、『ハムレット』や『ロミオとジュリエット』で有名なシェイクスピアの命日であり、文学に非常に縁の深い日であることから本と一緒に贈るという風習が広まったそうです。

大切な人に本を贈る。ステキですね！
みんなも、家族や友達に図書室の本の中から選んで紹介してみても、どうでしょう？きっと喜んでくれるはず！



今週で全学年の図書室オリエンテーションを終えました。

直接みなさんに会うのが初めてだったので、とても楽しみにしていました。

1年生は最後に、読んでみたい！と思った本を選んでもらいましたが、一生懸命選んでくれて、嬉しかったです。

2年生は私が読んだ『風の中のマリア』の主人公当てクイズにも一生懸命考えて、たくさんの答えを出してくれて、楽しい時間でした♪

3年生は『新書のお試し読書』を体験してもらいましたが、みんな真剣に集中して読んでいて、さすが3年生！と思いました。

これから東愛宕中のみなさんと本の話をしたり、一緒に本を選んだりできることがとても楽しみです！

司書 福地より。